

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0174700971		
法人名	特定非営利活動法人 ママサポートえぶろん		
事業所名	グループホーム うらら花		
所在地	北海道足寄郡足寄町旭町2丁目27番地1 (電話) 0156-25-5336		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年2月16日	評価確定日	平成21年3月5日

【情報提供票より】(平成21年1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年4月15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 8人, 非常勤 4人, 常勤換算	8.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 ~ 30,000 円	その他の経費(月額)	9,000 ~ 15,000 円
敷金	有() 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.4 歳	最低 73 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	足寄町国民健康保険病院・医療法人社団三意会 我妻病院・足寄ファミリー歯科
---------	--------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体は地域の主婦達が立ち上げたNPO法人で、グループホーム・デイサービス・障がい者福祉サービスを主事業として今年度は、障がい者・高齢者の共生型自立支援ハウスも運営し地域の福祉に大きく貢献しています。一般住宅を改装したホームの居間は行事の写真や作品を飾り明るい空間になっています。利用者が楽しく過ごしている雰囲気を感じられ、地域との人々との交流では、花見・夏祭り・避難訓練等の地域行事への参加や日々、散歩や買い物での地域の人と交わされる挨拶などを通じて相互交流を図っています。管理者はチームケアを意識して職員と十分に話し合い、利用者の変化や気づきの情報の共有を図っており、常に利用者に心地よい居場所を提供出来るように心掛けています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、運営推進会議を通じて、地域との連携の強化と研修会や勉強会の更なる取り組みでしたが、避難訓練・夏祭り等の行事の参加や日々、散歩や買い物で交わされる挨拶などの相互交流で以前より連携の強化を図られており、勉強会・研修会も積極的に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に取り組む中で、職員の業務とケアを振り返る機会として捉え、質の向上に取り組んでいます。又、管理者、職員は外部評価での課題や提案などを真摯に捉え、改善に向けて積極的に、サービスの質の向上に活かしています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在10回実施されています。主な主題については ホームの近況報告 利用者の生活状況 外部評価の結果報告 防災・避難訓練の取り組みと今後の計画 出席者からの質疑応答
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 法人独自の会報紙「ぼけっと」やホームだよりの「うらら花日記」を発行し、利用者の日々の暮らしぶりやホーム行事の参加の様子を写真を入れながら見易いように作成しています。又、家族の来訪時には全職員が通信では伝えられない面や運営推進会議での意見や苦情は書面にして、いつでも家族が閲覧できるようにしています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会の花見、夏祭り、餅つき会、防火訓練の地域行事への参加や日々、散歩や近所への買い物へ行く際に交わされる挨拶や夏休みのラジオ体操に参加しており、子供達との交流は利用者の楽しみ事になっています。又、自治会の会長が、運営推進会議の会長を行っており、それによりホームと地域の連携強化を図っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念は、職員全員で話し合い、「健やかで、その人なりの個性、暮らしを尊重し、心地よい居場所を提供します。」として作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は管理者・全職員で話し合い作り上げており、理念を常に意識して実践に向けて日々取り組んでいる。又、生活記録の表紙にも記載し、いつでも確認できるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常での散歩や買い物で交わされる挨拶、自治会の花見、夏祭り、餅つき会、防火訓練などの地域行事への参加で相互の交流を図っている。また、夏休みのラジオ体操の参加は、小学生との交流の機会として利用者の楽しみ事になっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に取り組む中で、職員の業務とケアを振り返る機会として捉え、質の向上に取り組んでいる。又、管理者、職員は外部評価での課題や提案などを真摯に捉え、改善に向けて積極的に、サービスの質の向上に活かしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在10回開催されており、メンバーは利用者家族、自治会長、包括支援センターの職員、提携医療機関の事務長、ボランティア関係者、法人理事長及び管理者・職員で構成され、ホームの現状報告や意見の収集に努めサービス向上に活かしている。	○	自治会の会長が、運営推進会議の会長を行っており、それによりホームと地域の更なる連携強化が図られている。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の介護福祉課の担当者へは、定期的に現状報告や相談の為、訪問している。包括支援センターから定期的な訪問もあり、サービスの質の向上に活かせるように取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	法人独自の会報紙「ぼけっと」やホームだよりの「うらら花日記」を発行し、利用者の日々の暮らしぶりやホーム行事の参加の様子を見易いように写真を入れながら作成している。又、家族の来訪時には全職員が通信では伝えられない面も報告できるように記録や写真を活用して報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見、不満、苦情を言いやすい雰囲気づくりを心掛け、管理者や職員は積極的に聴取に努めています。又、運営推進会議で家族からの意見を、外部者へ表せる機会を設けて、出た意見や苦情は回覧し、いつでも閲覧できるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、管理者は職員に対して、離職を防ぐ取り組みとして、仕事上の悩みや相談を受けたり法人全体では、毎年慰安旅行も実施して、職員同士の親睦を深めている。異動の際も利用者に影響を与えないような配慮を心掛けている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月開催される全体会議で内部の研修の機会を確保しており、その都度、次回の研修内容の希望を聞いたり、計画的に進められている。外部への研修や講習も奨励しており、職員の資格取得についても、段階に応じた取得の為に勉強会を実施し、資格取得に活かされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業者と交流の機会を持つために、協議会のブロックでの研修会等へ積極的に参加している。又、定期的な相互訪問をしているホームもあり、親睦会も実施し、意見交換を行うなどして交流する機会を持ちサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ディサービスの利用者からの入居が多く、相互交流の中で馴染みの関係が構築されており、また利用者・家族の見学や宿泊の受け入れなどで不安を解消するような取り組みをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の過去の生活歴を踏まえ、出来る事、出来そうな事を職員が把握し、実践に活かしている。利用者と一緒に調理を手伝い、同じメニューと一緒に楽しみながら食事している。後片付けやホームの畑で野菜を栽培したり、散歩や買い物など、本人の思いに沿った支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの生活歴を踏まえ、思いや意向を尊重して、散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり、料理や趣味ごとの支援や食事の準備、食の嗜好の把握など取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や、カンファレンスでの職員からの意見やアイデアを取り入れ具体的な介護計画を作成している。又、今後は記録とケアプランの連動性を更に意識した取り組みも検討している。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、6ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。又、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じてその都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、一時帰宅支援、家族の宿泊、通院の支援をしている。又、同法人が運営しているデイサービスへの相互訪問も行われている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者一人ひとりの主治医との相談できる関係を築いており、気軽に相談できる看護師も確保している。又、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針があり、同意書も貰っている。治療やリスク等をできるだけ早い段階で家族やかかりつけ医と十分に話し合い、方針を全員で共有し実践に活かしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの主体性を損なわないように言葉かけや介助を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも十分に注意して支援している。又、記録等の個人情報の取り扱いについても、同意書を取るなど注意し、取り扱っている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の利用者の気持ちが把握され、記録やケアプランにより職員間で共有されている。又、一人ひとりの今の気持ちを尊重してスーパーでの買い物や食事の準備、掃除の手伝いなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しみながら食事の準備をしている。食事中は、介助の必要な利用者にはさりげない介助を心掛けている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに、利用者の希望に応じて週3～4回を目安に夜間でも入浴できるように支援している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように心掛けている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を踏まえ、畑作業やホーム内での役割分担などを決め取り組んでいる。又、気晴らしの散歩や手芸などの趣味の支援も行い日々、喜びのある充実した生活が営めるように心掛けている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に沿って、買い物や散歩の他、毎月、紅葉狩りツアーやカラオケチャリティーショー、観劇ツアー、野外バーベキューなど外出の機会を設け利用者が戸外に出かけられるよう支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、外出を希望する利用者には常に同行し、職員が見守りや安全面に十分な配慮を心掛けている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	防火管理者が配置され、緊急連絡網、緊急対応マニュアルも作成しており、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように夏・冬年2回、火災避難訓練が実施されている。又、消火設備についても自主点検が実施され不測の事態の対策がなされている。	○	年2回のホームでの火災避難訓練の他に、消防署や自治会と連携して、地域での防火・避難訓練を実施しており、以前より地域との連携が強化されている。
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量・水分摂取量が食事摂取表に記録されており、献立は管理栄養士が作成し栄養バランスやカロリーもしっかりと管理されている。又、一人ひとりの体調に合わせておかゆやきざみ食などの対応も行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の写真や利用者の作品が飾られ、季節感を感じさせる工夫もされている。一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されており、暖かく安心感を感じられる共有空間になっている。又、利用者が気になる臭いや音も無く、居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や鏡台、箆笥、椅子など使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる空間となっており、一人ひとりの思いが伝わり居心地よく過ごせるような居室になっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。